

- 我が国の農林水産物・食品の輸出額1兆円の目標達成に向けて、地方産地から海外までのコールドチェーンの構築が重要であるが、地方空港に主に就航する小型航空機に搭載可能な保冷コンテナはなく、また、中・大型航空機に搭載可能な保冷コンテナもドライアイスを冷媒としており、温度管理の精度に限界がある。
- 温度可変機能等を有するLD-3^(※)型保冷コンテナ及びB737型機に搭載可能な小型保冷コンテナの開発により、地方産地から海外までの一貫した高品質なコールドチェーン物流の提供を可能とし、農林水産物・食品の輸出拡大を図る。

新型航空保冷コンテナによる輸送イメージ

【小型保冷コンテナ開発】

地方空港路線の小型航空機(B737型機)に搭載でき、ドライアイスを使わず要冷品の定温輸送が可能なコンテナの開発

《国内航空輸送》

小型航空機の輸送能力活用

⇒地方産地からの農林水産物・食品も鮮度を保って短時間で国際拠点空港等まで直送

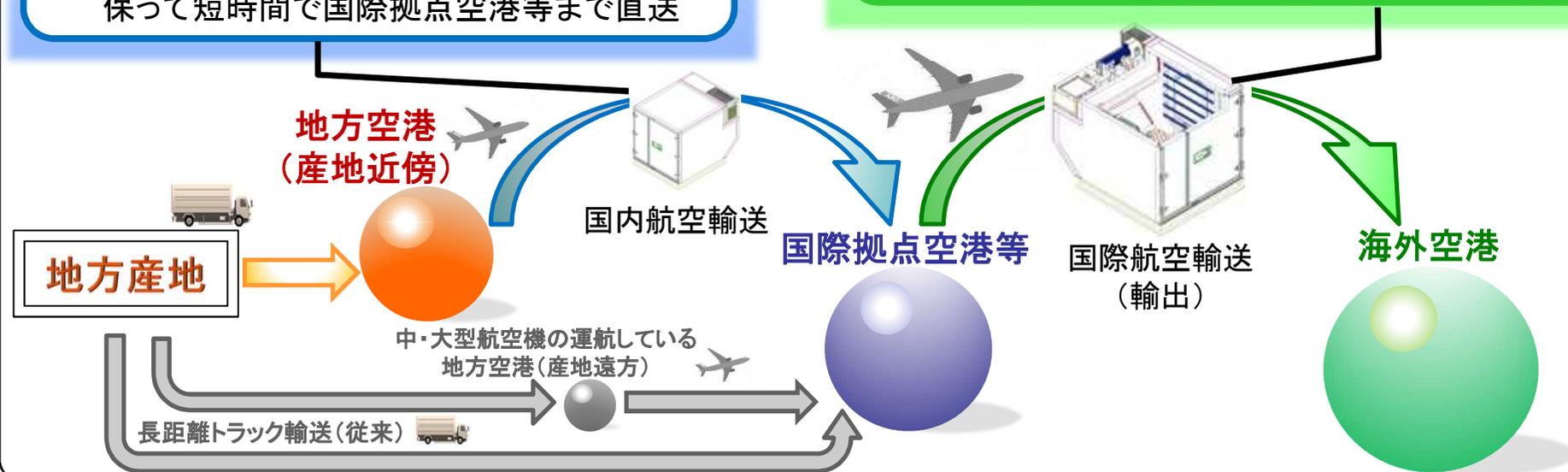
【LD-3型保冷コンテナ開発】

ドライアイスを使わず、温度可変機能によって商品の特性に応じた定温輸送ができ、既存の海外製品に比べて安価に保守整備が可能なコンテナの開発

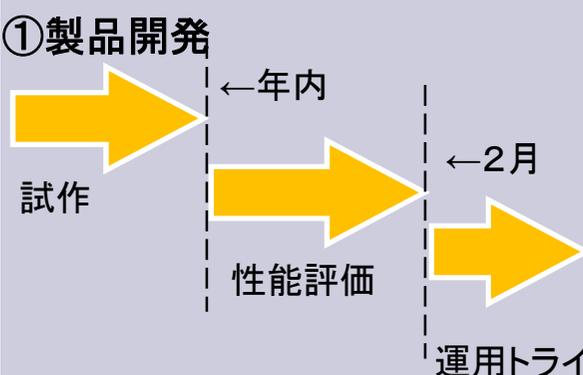
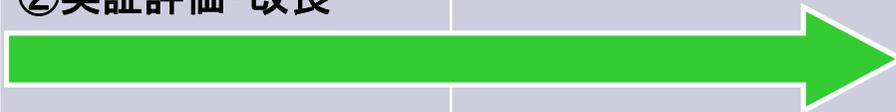
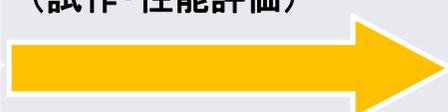
《国際航空輸送》

低コスト・高品質な航空保冷輸送

⇒ランニングコスト低減と高品質な定温輸送の両立によって輸出拡大に寄与



※ 国際航空運送協会(IATA)が航空機材等に対して規定する識別コードで、LD-3は国際航空輸送において最も多く用いられているコンテナの種類

項目		平成29年度	平成30年度	平成31年度
(1) LD-3型保冷コンテナ	(1)-A LD-3型保冷コンテナ (冷凍装置付)	①製品開発 	②実証評価・改良 	
	(1)-B LD-3型保冷コンテナ (冷凍装置付・温度可変仕様)	①製品開発 (仕様検討) 	①製品開発 (試作・性能評価) 	②実証評価・改良 
(2) 小型保冷コンテナ		①製品開発 (仕様検討・試作) 	①製品開発 (性能評価) 	②実証評価・改良 